

あいち認知症パートナー宣言

名称 学校法人日本福祉大学

私たちの企業・大学は、「認知症に理解の深いまちづくり」に
「じぶんごと」として取り組みます。

日本福祉大学は、「ふくしの総合大学」として、社会福祉専門職の養成はもとより、全ての人たちの生活保障と幸福を追求しています。リハビリテーションや看護を学ぶ学生たちにとっても、その時々地域やそれぞれの現場のニーズに応じてきた取り組みのなかで、認知症の支援や理解に関するものは数多くあります。具体的には下記のような取り組みを通じて認知症の方と家族を支援できる専門職の養成と地域社会の一員として認知症の方を支えることのできる市民の育成に取り組んでいます。

<主な取り組み>

- ・ 社会福祉学部では、「人間福祉特別講義」に認知症サポーター養成講座を開講しているほか、「フィールド実践演習」にて、学生が認知症への理解を深めるためのツール（かるた・絵本・LINEスタンプ・ゲーム等）を制作し、地域の中でそのツールを活用した啓発活動に取り組んでいます。
- ・ 健康科学部では認知症予防に向けた人材育成研修への協力、回想法によるプログラム開発を行っています。
- ・ 看護学部では、老年看護学や地域看護学を中心として、「老年看護概論」「老年看護方法論」「老年学」など、複数の科目の中で「認知症」の理解や予防・看護に関連した講義や演習を行っています。
- ・ 福祉経営学部（通信教育部）では、医療・福祉・介護現場で働く人を対象とした履修証明プログラムを開講しています。
- ・ 回想法に関わる研究を継続して行っている教員に対しては、知多地域の内外から多くの講演依頼があり、地域住民や専門職を対象とした講演を多数行っています。
- ・ 学生・保護者を対象に、愛知県の作成する啓発資材の掲示や配布を行っています。

また、研究的には、看護学部の中に、「認知症」予防や看護をテーマにした研究に取り組んでいる教員チームがあります。また、回想法に関わる研究を継続して行っている教員に対しては、知多地域の内外から多くの講演依頼があり、地域住民や専門職を対象とした講演を多数行っています。